



Volume Lash Manual

Ver1.0.2



HOW TO USE



VOLUME LASH TECHNIQUE

ボリュームラッシュの施術方法



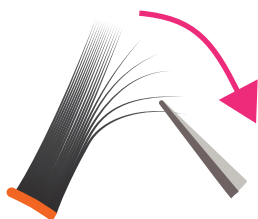
※ボリュームラッシュ施術を検討される際は、正しい知識を有した指導者が在籍するスクールの受講をお勧めいたします。



ボリュームラッシュ施術は、複数本の極細人工毛（元々束になっていない人工毛）をツイザーで把持し、ファン（扇状の広がり）を作り1本のまつげに装着します。1本のまつげに極細人工毛を1本ずつ繰り返し装着するものではありません。施術には専門の手技を必要とします。誤った手技はトラブル発生の原因となります。ボリュームラッシュ施術を検討される際は、正しい知識を有した指導者が在籍するスクールの受講をお勧めいたします。※まつげの太さは 0.1mm よりも細く、0.05～0.08mm 程度です。（出展：松風まつげエクステ技術者養成基礎講座テキスト冊子）グルーの塗分量やエクステが外れる際の状態が影響する目元トラブルリスクの軽減のためには、ボリュームラッシュ施術を行う場合のファン形成の本数につきましては、2本もしくは3本までに留めていただくことをお勧めしております。

施術方法

1. 毛先をバラす

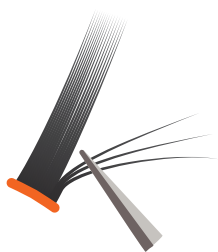


2. 必要本数を軽く把持する

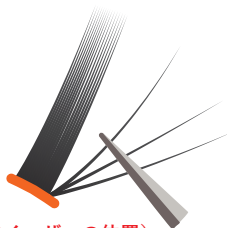


(最大3本まで)

3. 毛先を均等に広げる

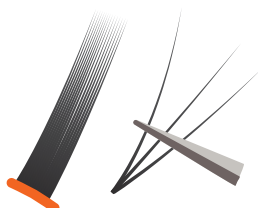


4. しっかり挟む



(ツイザーの位置)

5. ゆっくりシートから外す



(ファンが崩れないように)

★. 本数は 2or3 本まで



メリット

正しい知識・技術を有した状態でのボリュームラッシュ施術には、以下のメリットが生まれます。

- ・極細人工毛が持つ柔らかい仕上がりになる
- ・多くの人工毛が装着されふさふさ感が出る
- ・1by1では困難なまつげの隙間を埋められる

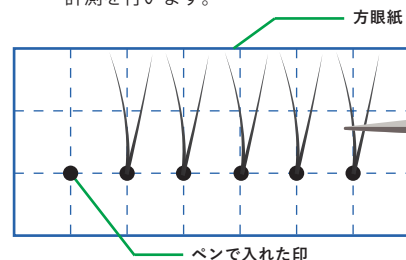
デメリット

知識・技術レベルが未熟な施術者の場合、間違った施術を行うと、以下のデメリットが生じます。

- ・まつげの代謝を妨げる
- ・グルーの塗布量が多くなる
- ・コームが通らない
- ・まつげの根元に付着するアイメイク汚れが落ちにくい。（角膜や結膜の感染症リスクが高まる。マイボーム腺の機能低下によるドライアイ発症リスクを高める）

反復練習方法のパターン

1 by 1 施術の装着練習方法と同じように、方眼紙の枠内にペンで印を入れ、その印に人工毛の根元を合わせ反復することで、装着時間計測を行います。



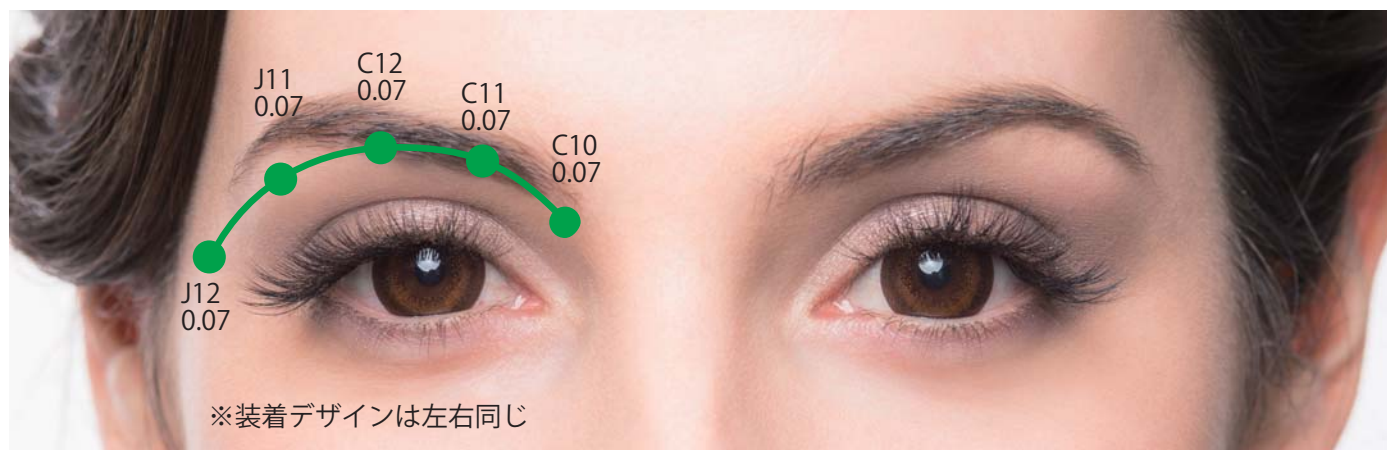
■ デザインレシピ (下記のモデル)

本数：2D～3D (2本～3本) 片目80束 両目160束

太さ：0.07 mm C10/11/12 J11/12 mm

【補足説明】

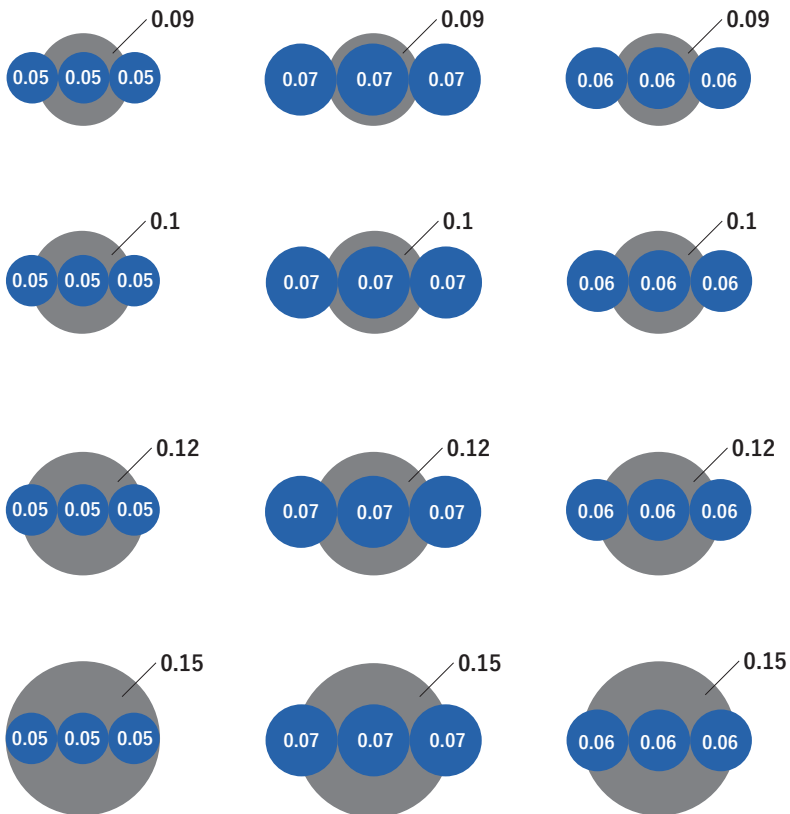
写真モデルは元々まつげの本数が多く長さもあり目幅も広いことから、バランス良く仕上げる為に装着本数を多めにし、目頭にも長さ10mmを使用しています。例えば、一重や奥二重のお客様に装着する場合、目元を分析せずに同じデザインレシピで装着すると、満足のいく仕上がりにはなりません。更には、まつげに過度な負担をかけることにもつながります。







■ 3D と 1by1 の比較



■ ポイント！

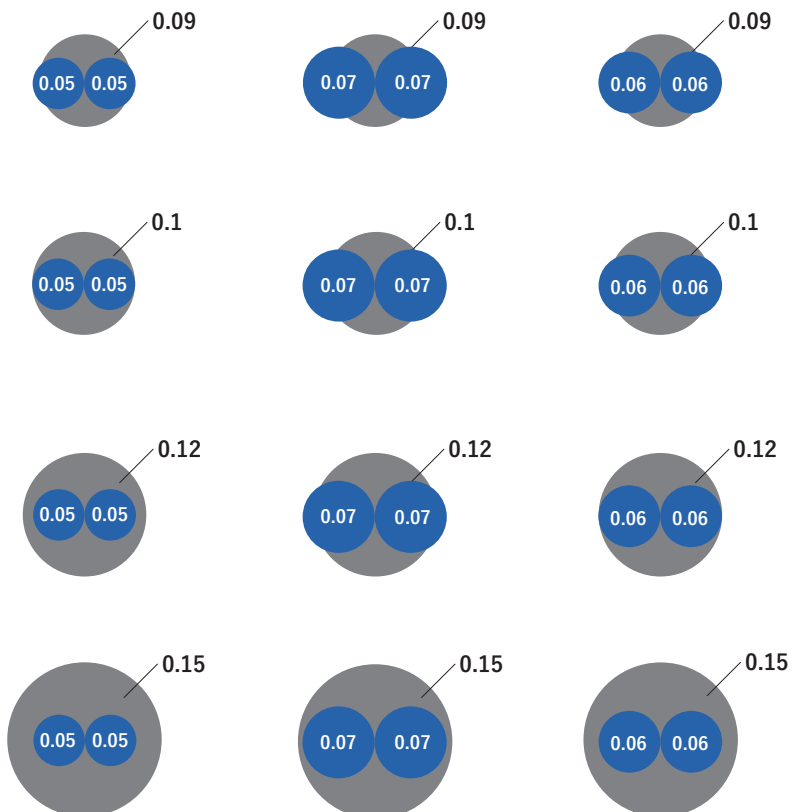
実際にまつげに装着する時は、2D も 3D もエクステは並列で装着することから、左記イラストの通り比較しました。まつげの太さを約 0.05mm とした場合、3D 以内にしておかなければ隣のエクステ通しが干渉する可能性が高まります。

また、本数が多くなるほどにグルー塗布量の調整が難しくなります。ボリュームラッシュは 3D 以内にしておくことをお勧めします。

■ バランスの良いファン



■ 2D と 1by1 の比較



■ バランスの悪いファン

